

【小売業】

スーパーマーケットの 生産性向上活動報告

テーマ：バックヤード業務生産性向上

Canon

平成29年 5月24日

会社(改善現場)概要

■株式会社 さえき (本社: 東京都国立市)

事業内容 : 総合食品スーパー・マーケット

多摩地域を中心に14店舗を展開

従業員数 : 1026名 (パート含) 平均年齢32歳

■フーズマーケットさえき 多摩平の森店

住所 : 東京都日野市

売場面積 : 300坪

従業員数 : 85名 (パート含)



活動の方向性

1. 流れの改善

物や情報の流れを整理し改善に結び付ける

2. “人一人あたり”の生産性の向上

ムダに着目し作業時間の短縮を図る

3. 標準化

誰がやっても同じようにできる

⇒ 自立した改善活動ができる基礎を築く

スケジュール

	2016年 7月	8月	9月	10~12月	2017年 1月	2月	3月	4月
会合	▼ 14 ▼ 20	▼ 3 ▼ 24	▼ 7 ▼ 21	▼▼▼▼ ▼ ▼	▼ 12 ▼ 26	▼ 9 ▼ 23	▼ 9 ▼ 23	▼ 6 ◆ 24 (修了式)
10ヶ月全20回にわたる活動								
Step 1  現状調査	改善活動							
目的:改善の面白さを知る 実例/成功体験と一緒に作る								
Step 2  勉強会  現状調査	改善活動							
目的:自らの力で実行できる キヤノンはその助言を行う								

活動の方向性

1. 流れの改善

物と情報の流れを整理し改善に結び付ける

2. “人一人あたり”の生産性の向上

ムダに着目し作業時間の短縮を図る

3. 標準化

誰がやっても同じようにできる

⇒ 自立した改善活動ができる基礎を築く

1. 流れの改善

改善テーマ

バックヤードにおける商品の停滞をなくすこと



作業内容

バックヤードから売り場の
陳列棚に商品を補充する

問題点

- 1) バックヤードに商品が煩雑に置かれている
⇒スペースのムダ・探すムダ
- 2) 売り場の陳列棚の空きを確認後、
バックヤードから補充する
⇒歩行のムダ

1. 流れの改善

改善点

- ①大物商品(飲料, 酒等)と小物商品(その他)に分けて整理整頓
- ②売り場にストック棚を新規に追加し、小物商品を移動・保管
- ③バックヤードのカゴ台車の配置ルールを決定

②小物商品(売り場)



③大物商品(バックヤード)



1. 流れの改善

改善効果

- ・ストック棚追加により小物商品の**カゴ台車の数の削減**

9台から4台へ⇒**56%削減**

→生み出されたスペースで通路を確保

- ・ムダな歩行の削減とカゴ台車を取り出す作業の軽減

効果時間：150時間/年⇒**生産性向上5%**

(※3,000時間/年→2,850時間/年)

効果金額：15万円/年 (※時給1,000円として換算)

(投資金額：14万円) (※ストック棚作成の費用)

活動の方向性

1. 流れの改善

物と情報の流れを整理し改善に結び付ける

2. “人一人あたり”の生産性の向上

ムダに着目し作業時間の短縮を図る

3. 標準化

誰がやっても同じようにできる

⇒ 自立した改善活動ができる基礎を築く

2. “人一人あたり”の生産性向上

改善テーマ

キャベツカットに一個流しを導入し作業時間を短縮



作業内容

キャベツ1個を半分にカットし、
ラップ掛けを行う

問題点

- ・1個ずつでなく
まとめてカットしている



まとめ加工による仮置き

⇒ 仮置きスペースのムダ

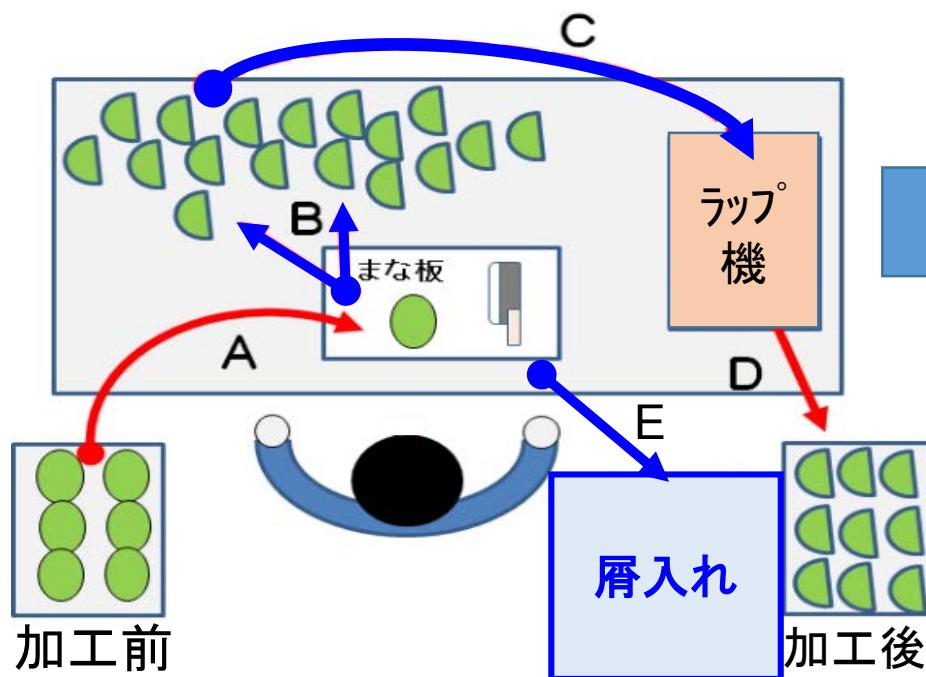
⇒ 取り置き動作による時間のムダ

2. “人一人あたり”の生産性向上

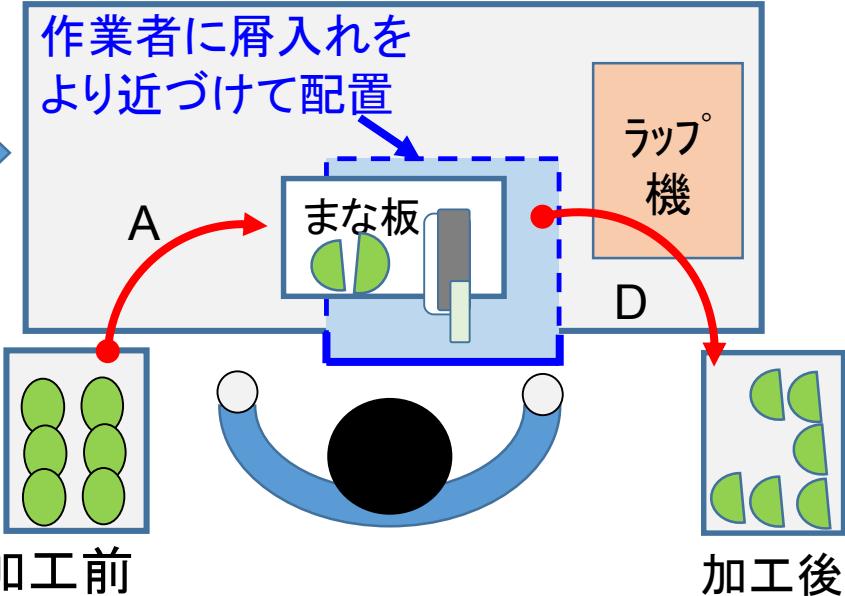
改善点

- ①「まとめ加工」から「一個流し加工」へ変更
- ② 仮置きの廃止
- ③ 脊入れの配置見直し

改善前(まとめ加工)

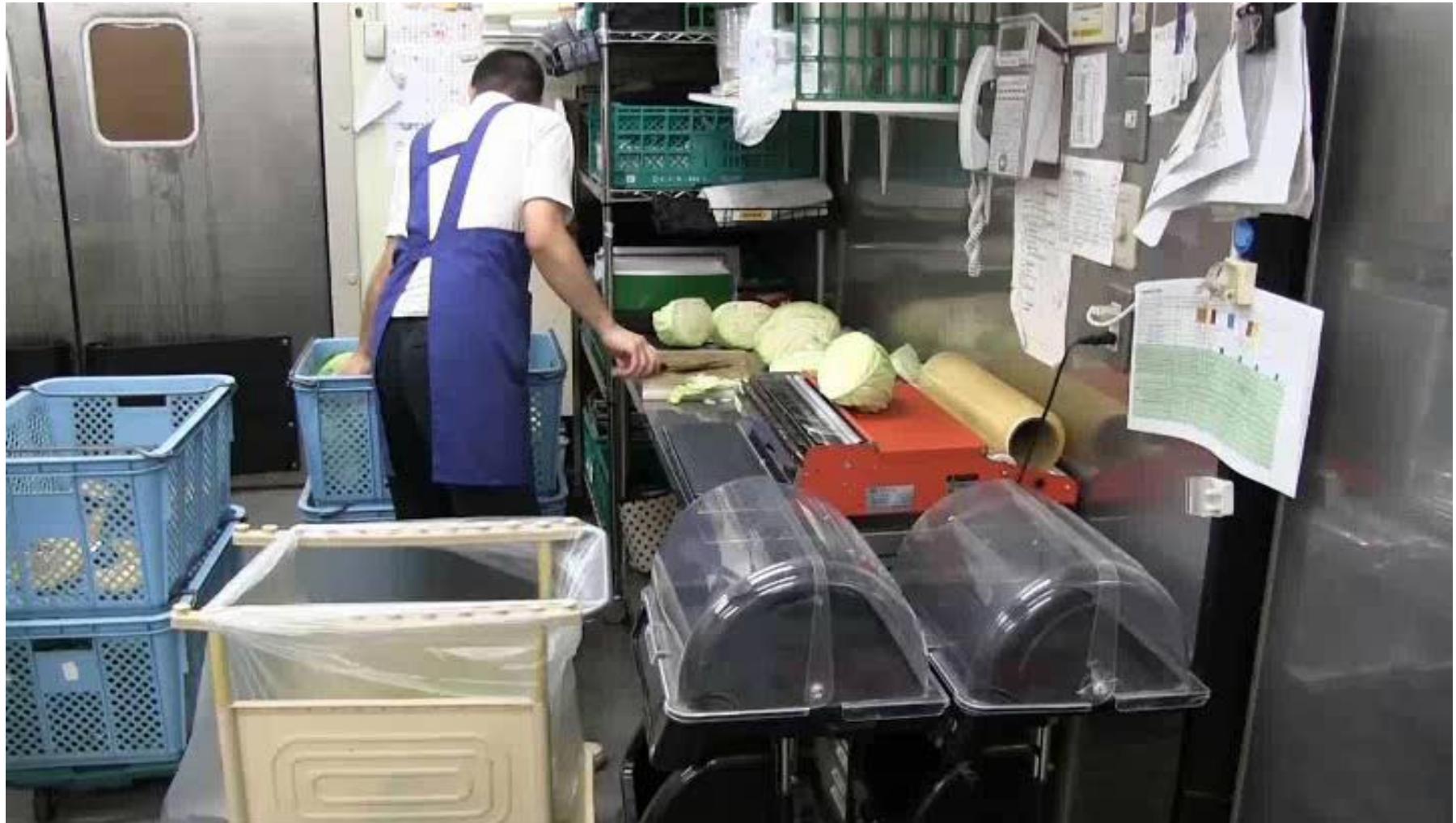


改善後(一個流し加工)



2. “人一人あたり”の生産性向上

動画紹介



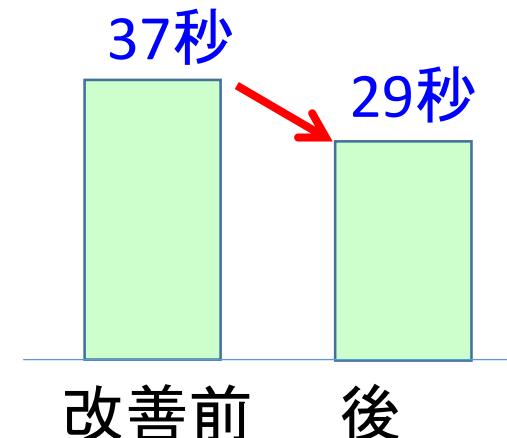
2. “人一人あたり”の生産性向上

改善効果

- ・一個あたりの作業時間

8秒短縮

生産性向上 22%



効果時間 20時間/年(※年間9,000個として算出)

効果金額 2万円/年(※時給1,000円として換算)

- ・他店/他野菜にも横展開を実施中